

2次元データを 3次元に変換

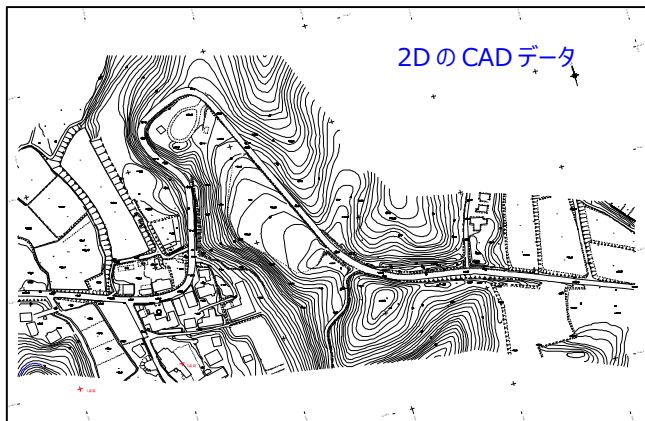
アプライドリサーチ株式会社

〒003-0801 札幌市白石区菊水1条4丁目6-51
TEL 011-376-5652 FAX 011-376-5662
URL <https://www.applied.co.jp>

<地形データの3次元化>

2020年7月 **サービス開始**

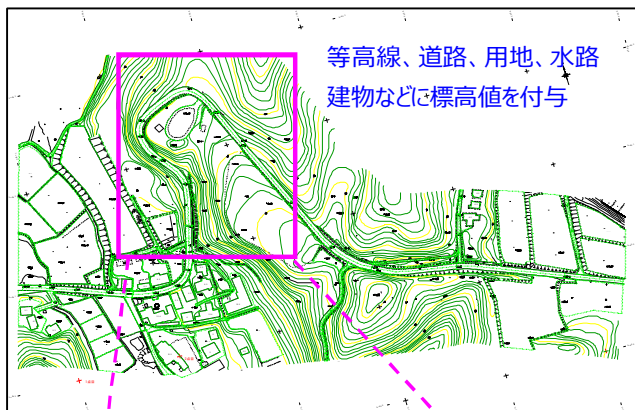
元データ(2D)



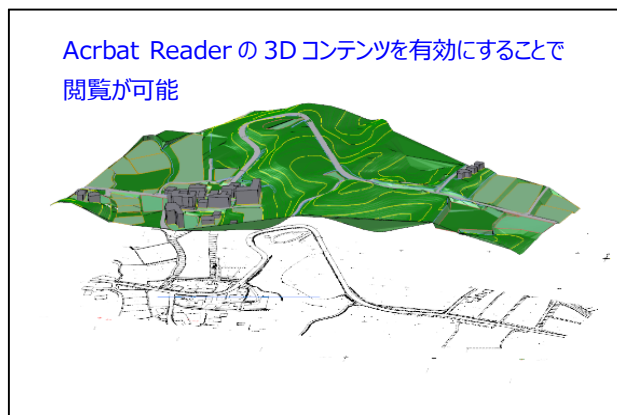
・対象データ：
地形データ、構造物データ（橋梁、Box、樋門 etc）

- ・2Dの元データには、等高線や用地の標高など、最低限のデータがあるだけでOK。
- ・3D化された図面からは、任意の位置の横断面図が取得可能
- ・また、3D-PDFに出力することで、Acrobat Readerで閲覧が可能

3D化完了



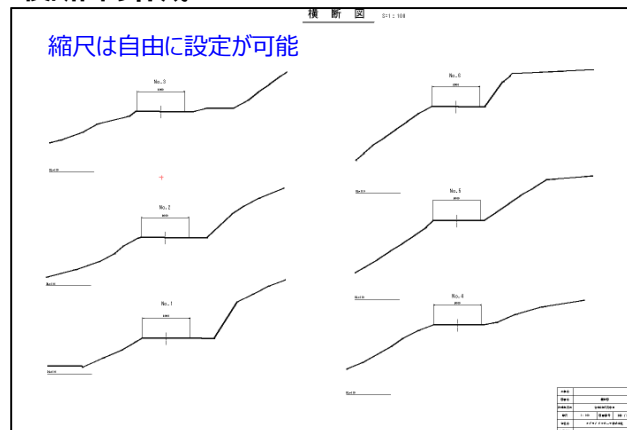
3Dデータのソリッド表示 (3D-PDF)



3D化された図面 (拡大)



横断面図の作成



道路概略設計や改良計画および施工時の仮設道路計画など3次元の計測データがなくても、切盛の土量算出や切盛土と既設構造物との隔離距離の確認などができる。

<構造物の3次元化>

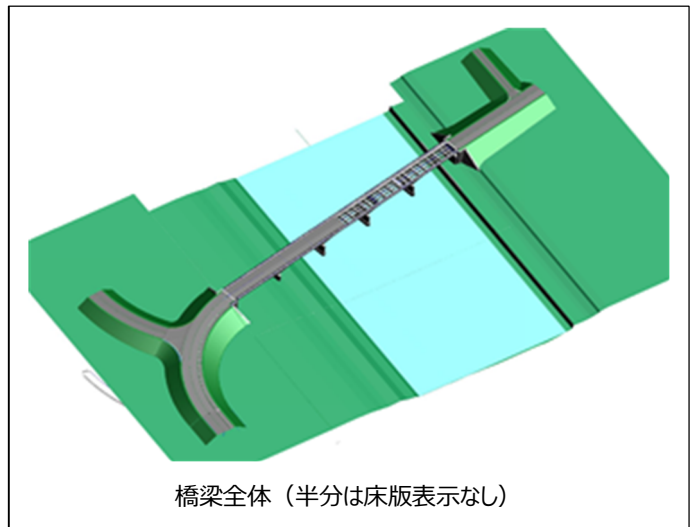
●橋梁全体の3次元化

橋梁の3次元化には、最低限のデータとして一般図と現地の写真があればOKです。

また、構造図があればさらに詳細な3次元化が可能です。

利用方法

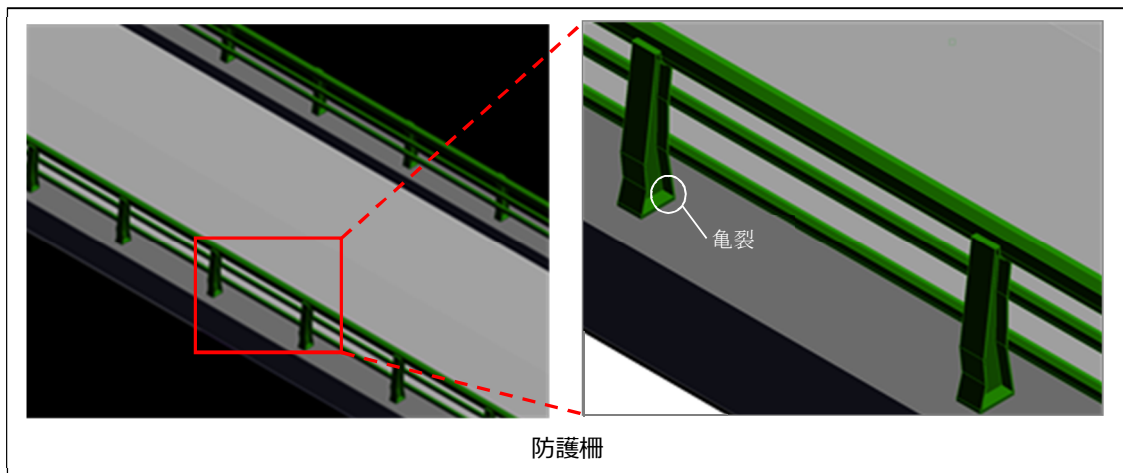
- ・架設または解体工事などの進捗状況の可視化ができ、住民説明会や安全教育などの資料として。
- ・高圧線との隔離距離や工事範囲と私有地の確認など、安全管理やトラブル防止などの資料として
- ・部材毎の数量算出（作成時に属性を設定）



●附属物の3次元化例

➤ 防護柵

全体図に損傷箇所の紐付け…拡大図で詳細な場所の図示…色々な角度から確認ができる



➤ 支承部

支承取替えや支承モルタルの補修時

- ・沓座の余裕幅の確認
- ・ジャッキ設置時の他部材との干渉チェック

